

中央大学法科大学院（大学院法務研究科）  
2024 年度入学者選抜 法学未修者コース 小論文試験 出題趣旨

翻訳語の成立を解き明かすことを試みる文章を素材にして、出願者の読解力、論理的思考力、及び表現力等を判定することを意図して、出題した。

問1は、文章を読み解き、内容をまとめ、表現する力を判定するための設問である。

Society に対応する現実がわが国にはなかったのはなぜかということ、society が個人を単位とする人間関係がであり、当時の幕藩体制の下でそのような関係が成立し得たか考えて欲しいという問題である。

問2の(1)は、「権」という言葉の語感に対する著者の指摘が今も生きていると考えるか、そうでないと考えるかを、具体例をあげて論じさせることにより、出願者の論理力、社会的問題意識をみる問題である。

問2の(2)は、自由をはき違えていると今日でも言われる翻訳語について、それではどう訳すかという設問にとり、出願者の論理力、表現力等をみる問題である。